

原水爆禁止2010年世界大会代表派遣 News

発行:原水爆禁止日本協議会 電話:03-5842-6031 FAX:03-5842-6033

Eメール antiatom55@hotmail.com 2010年8月2日 No.18 開会総会まであと2日

核兵器のない平和で公正な世界を

原水爆禁止2010年世界大会 - 国際会議はじまる!

「核兵器のない平和で公正な世界を」をテーマに、原水爆禁止2010年世界大会が始まりました。国際会議には250人が参加。国際会議宣言を採択する4日まで、熱心な討論が始まりました。



第一セッション「核兵器のない世界のために - 次のステップ」では、アメリカフレンズ奉仕委員会のジョゼフ・ガーソンさん、フランス平和運動のロラン・ニベさん、イギリス核軍縮キャンペーンのリンダ・ハグルさん、日本原水協の高草木博さんが発言。第二セッション「核抑止力論の克服、外国軍事基地撤去の運動との連帯、平和と安全のために」では、中国人民平和軍縮協会のニュー・チアンさん、韓国、労働者代案社会学習院講師のイ・ジュンキュさん、琉球大学名誉教授の矢ヶ崎克馬さん、グアム平和正義連合のマイケル・ベバックアさん、非核フィリピン連合のコラソン・ヴァルデス・ファブロスさん、アフガンの正義を求める社会協会のウィーダ・アハマドさん、ドイツ反核法律家協会のライナー・ブラウンさんが発言しました。アフガニスタンのウィーダ・アハマドさんの発言を一部紹介します。

ブッシュ政権の方がマシ!?

ウィーダ・アハマド (アフガンの正義を求める社会協会)

市民の殺害が日々増加しています。NATOとアメリカの軍隊は、私たちの国の女性や子どもを爆撃しています。2001年以降、NATOとアメリカによる空爆と、いわゆるタリバンに対する軍事作戦で、8000人を超える市民が殺されています。彼らはタリバンをやっつけていると主張していますが、タリバンは以前より強大になっており、マーク・ハロルド博士の統計によると、彼らはいまやアフガニスタンの国土の80パーセント以上を支配しています。タリバンは、自爆、誘拐、殺人などテロ行為を続けています。

これまでのところオバマ政権よりブッシュ政権の方がましです。ブッシュの在任中は、少なくとも多くの無実の市民を殺した犯罪者グルブディン・ヘクマティアルなど残忍なタリバンが指名手配されていましたが、なんとオバマ政権は彼らと協議して政権に復帰させようとしているのです!



発言するウィーダ・アハマドさん(8月2日)

